

電源プラグ・コンセントなどによる事故の防止について

シーアイハイツ和光管理組合

電気製品の電源プラグやコード及び配線器具による事故が多く発生しています。全国的に見ると平成21年度から平成25年度までの5年間に 1,003件ありました。このうち死亡事故は14件、重傷事故は7件あり、火災と判断されたものは190件に上ります。

(独立法人 製品評価技術基盤機構HPより)

シーアイハイツ和光においても近年、同様の事故が数件発生しています。直近ではF棟において壁コンセント内側が損傷した事故がありましたが、幸いにも住戸の方が異変に気付かれて大事には至りませんでした。(写真1)

事故には、使用者の誤使用や不注意等の使い方に関わるものがあります。

「電源コードに過度の繰り返しの引っ張りや屈曲が加わったため断線・ショート」「電源プラグ刃にほこりや水分が付着したためトラッキング現象が生じた」等です。

電源プラグ・コード及び配線器具は、電気製品に電力を供給する重要な役割を担う部分ですが、見た目での危険を認識しづらく、誤った取扱いを続けることによって、事故へと至るおそれがあります。

特に、これらの事故は、異常発熱や発火を伴うものが多く、火災へと至るおそれがあるため注意が必要です。正しく使用していただき、事故を未然に防止しましょう。

有償となりますが、東京電力に依頼しての安全チェックもできるようです。(東京電力 ホームコンサルト)

(写真1)



(写真1の説明)

洗濯機置き場のコンセント(アース付)とその内部が焦げた状況。

設置場所の環境から埃、水分等が付着して損傷したと思われます。電源プラグを差しても通電しないことで電気工事店に相談し、気づかれました。

事故防止のために



定期的なプラグを抜き
乾いた布で埃をふき取る



電源コードを束ねない



電源コードを傷つけたり
重いものを載せたりしない